

共同通信杯・G ・東京・芝1800m・2 / 3

馬名 評価 影響度 生年 性別 厩舎・所属 馬主 生産者	主導勢力 位置・配置 結合度 弱点・欠点 影響度 種類・数 質・傾向 スピード/スタミナ 日本適性 成長力
	父・母・BMS プロフィール
アイアムツヨシ 2 B (7)(3)(4)(2) 1999 牡 杉浦宏昭・関東 堀紘一 社台牧場	63 タヤスツヨシ ・ アイアムザウィナー ・ Danzig Connection Almahmoud、Pharamond、Nasrullahといったスピードの血が前面で生きたことは当馬の長所で、開花・仕上がりは早く、早い時期のスピードレースへの対応は可能。スタミナの核不足などから、母の優秀さを考えると物足りなさが残るが、スピードという個性はある。慣れれば芝可。
ケージーテイオー 1 B (6)(4)(1)(9) 1999 牡 前田禎・関東 川井五郎 小河豊水	50 アフリート ・ ケージーリボン ・ ニホンピロウイナー 母はヨーロッパの血を主体に構成されている。したがって、父内のアメリカ系は不備をかかえ、そのスピードは半減している。そのかわりNasrullah、Hyperionのリードで、テスコボーイを強調していて、母のスピードは最低限再現され、開花も早い。無難なダートタイプ。
ココモキング 3 B (7)(10)(6)(4) 1999 牡 ニノ宮敬宇・関東 金子真人 DGキャンベル	72 Cherokee Run ・ Dearest Dee ・ Stalwart Nasrullahの系列ぐるみが主導だが、War Admiral、Bull Lea、Princequilloのスタミナを確保している。したがって、当初は素軽さを欠くことが予想されるが、Menow、Mahmoudなどが全開すれば、スピードレースに対応することも可能。
サスガ 2 B (14)(4)(3)(3) 1999 牡 藤沢和雄・関東 市川義美 千代田牧場	57 サンデーサイレンス ・ ダボナアンビション ・ Seattle Slew ヒダカサイレンス(97年生)の全弟。Hail to Reason - Turn-toの中間断絶で全体をリード。他に余分なクロスの派生がないことは救いで、前述の血が全体をまとめる上で有効に作用している。脚質に切れを欠くが、芝・ダートを問わず、1000万~準オープンレベルはある。
サンヴァレー 2 B (5)(2)(4)(1) 1999 牡 岩元市三・関西 林進 浦河日成牧場	60 ウイニングチケット ・ ヴァレリー ・ サンデーサイレンス 父母双方のかかえた不備をある程度補正できたことは当馬の長所。また、異系交配により、ウイニングチケット産駒としては比較的シンプルさを備えており、開花・仕上がりの早い。残念なのは、父母間の血の位置に問題を残すことだが、Hyperion主導の明確性はあり、好調期の意外性は期待できる。
サントニービン 1 B (8)(19)(2)(2) 1999 牡 高橋成忠・関西 永井啓武 岡野牧場	41 トニービン ・ レイクワース ・ Cure the Blues 父母間の世代ズレにより、クロス効果が読み取りにくいことや、母内アメリカ系の血に不備を抱えたことは能力減の要因。救いは、NasrullahとFair Trialのスピード、Hurry OnとPrince Bioのスタミナが確保され、少ないクロス馬でまとまっていること。早熟タイプ。
シンボリクリスエス 3 B (11)(5)(0)(4) 1999 牡 藤沢和雄・関東 シンボリ牧場 TWダ	52 Kris S. ・ Tee Kay ・ Gold Meridian Royal ChargerとNasrullahのリードでRobertoを強調。The BossやFransis S.のアシストで、スピード優位の形態。全体のバランスはよいとはいえず、奥のある配合ではないが、仕上げやすさを備えており、日本に適したマイル・中距離タイプ。
ストロングブラッド 3 B (3)(3)(3)(2) 1999 牡 増沢末夫・関東 村木篤 千代田牧場	55 トウカイテイオー ・ ワイプザアイ ・ Gulch サマーキャンドル(98年生・父シアトルダンサー)の半弟。血の集合、主導は不明確で、父母の傾向は姉より劣る。そのかわり、父内ナイスダンサー、ファバージのキーホースは押さえられており、欧米混在型としては結合は良好。堅実性を備えており、中距離・準オープンクラスが目安。
セイウンマグマラシ 3 B (14)(9)(9)(6) 1999 牡 浅見秀一・関西 西山牧場 アレクサンダー・グローヴス	57 Silver Hawk ・ Inca Dove ・ Mr. Prospector 当馬の問題は、強調された父内の4代目で、NashuaとNearcoがともに強い影響を示し、血の集合がわかりにくいことで、ツメは甘い。一般レベルでいえば悪い配合ではないが、父母の質を考えると物足りなさが残る。本質的には、ゆったり流れる芝の中距離向き。
セイコーアカデミー 3 B (15)(3)(0)(5) 1999 牡 鈴木康弘・関東 竹國弘 ノーザンファーム	63 サンデーサイレンス ・ スコールイ ・ Seeking the Gold BMSの影響度は0だが、そのスピード・スタミナは生きたため大きなマイナスとはならない。ただし、結合状態は万全とはいえず、ここが上位での決め手の差になるかもしれない。とはいえ、Turn-toへの集合力、スピード・スタミナの比率に見どころがあり、父の産駒の走る構造は確保している。

共同通信杯・G ・東京・芝1800m・2 / 3

馬名 評価 影響度 生年 性別 厩舎・所属 馬主 生産者	主導勢力 位置・配置 結合度 弱点・欠点 影響度 種類・数 質・傾向 スピード/スタミナ 日本適性 成長力
	父・母・BMS プロフィール
チアズシュタルク 3 B (11)(2)(2)(3) 1999 牡 山内研二・関西 北村キヨ子 ナカノファーム	58 サンデーサイレンス ・ チアズフラワー ・ Al Nasr チアズグレイス(97年生)の全弟。Almahmoudを主導に、父の父Haloを強調した配合。BMS内の血の生かしかたが万全ではないこと、母の血の世代が全体的に新しいことはマイナス。とはいえ、日本的な素軽さ・スピードを備えており、2~3歳の早い時期は有利。
チョウカイフライト 1 A (14)(3)(4)(1) 1999 牡 中野隆良・関東 (株)平田牧場 谷川牧場	59 サンデーサイレンス ・ チョウカイキャロル ・ プライアンズタイム チョウカウエスト(97年生)の全弟。Hail to Reasonの3x4は単一で、Mahmoudの系列ぐるみを主導に、父の父Haloを強調した配合。母内プライアンズタイム、Vaguely Nobleなどからスタミナを補給しており、母同様に、中長距離の平均ペース向き。無事開花を果たして欲しい。
ナリタキセキボーイ 2 B (1)(2)(13)(3) 1999 牡 萱野浩二・関東 山路秀則 本巢敦	57 フジキセキ ・ キスミートウショウ ・ トウショウボーイ マイネルクラシック(95年生、父ラシアンルーブル)の半弟。Khaled主導の父を生かした内容ではなく、Teddy系などの欠落から、信頼性にも欠けるが、母内トウショウボーイ、シルバーシャークなどのスピードが生き、開花・仕上がりは早い。よって、早い時期のスピードレースへの対応は可能。
ニシノアイビーム 2 B (3)(5)(8)(6) 1999 牡 二ノ宮敬宇・関東 西山牧場 西山牧場	67 フジキセキ ・ ビーマイアリ ・ Alydar Nasrullahを主導にBMSを強調。母の母方Alleged、そしてWild Riskの4x4(中間断絶)内Blandfordがスタミナをアシストし、距離の融通性を備えている。ただし、父の素軽さはやや薄れ、馬力型に変身しており、ダートなど時計を要する馬場に向く。堅実性はある。
ファストタテヤマ 2 B (4)(10)(10)(14) 1999 牡 安田伊佐夫・関西 辻幸雄 秋田牧場	53 ダンスインザダーク ・ メインゲスト ・ ターゴワイス ステラビギン(98年生、父ジェイドロバリー、2B)の半弟。Northern DancerとLady Angelaによりノーザンテーストを強調し、祖母ダイナアンパー内Bull Leaがスタミナの核を形成。時計を要する馬場、ダートへの適性を備えた馬主孝行タイプ。
マイネルフェスト 1 B (5)(1)(9)(4) 1999 牡 前田禎・関東 (株)TCラフィアン ビッグレッドファーム	65 オペラハウス ・ チアーズパッサー ・ メイワパッサー 母の母方キタノカチドキ、ダラノアが父内のヨーロッパ系の血と呼応。アメリカ系は、BMS内Buck passerが父と呼応し、傾向は悪くない。残念なのは、スピード系の弱さとクロス馬の位置関係で、あと一息決め手に欠けるタイプ。チャンスは重馬場など、時計を要する中距離戦。
ヤマノベガサス 2 B (8)(13)(10)(3) 1999 牡 畠山吉宏・関東 山住れい子 長谷川牧場	54 ダンスインザダーク ・ ヤマノカサブランカ ・ プルラリズム 母は桜花賞2着馬。当馬はNorthern Dancerの4x4、Hail to Reasonの4x5(ともに中間断絶)を呼び水に、父を強調した配合。Almahmoud、Menowなど、同父産駒としてはスピードを備えている。ただし、シンプルさには欠けるため、信頼度は低い。
ライブインザムーン 1 B (14)(9)(18)(4) 1999 牡 小島大・関東 首藤徳 社台ファーム	62 グルームダンサー ・ エアリュージュ ・ ノーザンテースト 父のキーホースを押さえ、母の母方からもTudor Minstrel、Mossboroughのスピード・スタミナのアシストを受けているように、父母の傾向は悪くない。それだけに、BMSの影響が必要以上に強くなってバランスを崩していることは残念。開花は早いですが、信頼性を欠く内容。
リパトレジャー 1 B (14)(19)(5)(7) 1999 牡 須貝彦三・関西 河越武治 飯岡牧場	57 カコイシーズ ・ アロマホーク ・ Silver Hawk 父母の傾向そのものは悪くないが、強調された父の前面で、Nasrullahの他に、Raise a Native - Native Dancer、Tom Fool、Eight Thirtyなどがクロスし、主導がわかりにくいことはマイナス。よって、仕上げにくく、芝では信頼性に欠け、ダートのほうが持ち味が生きるはず。ムラ。
ロイヤルマイル 2 B (10)(2)(3)(0) 1999 牡 松山康久・関東 (有)社台レースホース 追分ファーム	70 サンデーサイレンス ・ ハイランドトーク ・ Highland Park SickleとMahmoudを主導に、父の父Haloを強調。そのスピード・スタミナのキーホースは押さえられ、10Fを克服可能なスタミナは確保された。マイナスは、クロス馬の種類の多さや欧米の血の結合にぎこちなさを生じたことで、ここが上位での決め手の差になりそう。

共同通信杯・G ・東京・芝1800m・2 / 3

<p>馬名 評価 影響度 生年 性別 厩舎・所属 馬主 生産者</p>	<p>主導勢力 位置・配置 結合度 弱点・欠点 影響度 種類・数 質・傾向 スピード/スタミナ 日本適性 成長力 父・母・BMS プロフィール</p>										
<p>ワイルドユース 2 B ④②⑤⑤ 1999 牡 尾形充弘・関東 竹崎大晃 三好牧場</p>						52					
	<p>フサイチコンコルド ・ エバープロスパー ・ リアルシャダイ 距離適性 芝 ~9F~ ダ 6~9F Hail to Reasonの5×4は単一で、主導はNasrullahの系列ぐるみ。母の母方フロリバンダを強調し、父とBMSのイメージよりも仕上がり早でスピードはある。ただし、欧米の血の結合の弱さは、クラス上がっての決め手の差になる。芝は割り引きだが、平坦ダートはOK。</p>										